

植物のつくりとはたらき①

- ① めしべのふくらんだ部分を.....という。
- ② 子房の中にある、将来種子になる部分を.....という。
- ③ 胚珠が子房で包まれている植物を.....という。
- ④ めしべの柱頭に花粉がつくことを.....という。
- ⑤ 受粉によって、子房が成長した部分を.....という。
- ⑥ 受粉によって、胚珠が成長した部分を.....という。
- ⑦ 胚珠がむき出しになっている植物を.....という。
- ⑧ 花をつけて種子をつくる植物を.....という。

植物のつくりとはたらき②

- ① 葉などをうすく切って観察したとき、内部に見える小さな部屋のようなものを.....という。
- ② 植物の葉の細胞の中にある緑色の粒を.....という。
- ③ 葉に見られる筋のことを.....という。
- ④ 葉脈などに集まっている管の集まりを.....という。
- ⑤ 葉の表皮になる、2つの三日月形の細胞(孔辺細胞)に囲まれたすきまを.....という。
- ⑥ 根から吸い上げられた水が水蒸気となって出ていくことを.....という。
- ⑦ 葉の葉緑体に光が当たって、デンプンなどの養分が作られるはたらきを.....という。
- ⑧ 動物、植物がともに行っている、空気中の酸素をとり入れ、二酸化炭素をはき出すはたらきを.....という。
- ⑨ 植物にある、根から吸収された水や肥料分の通り道である管を.....という。
- ⑩ 植物にある、葉で作られた養分が、水にとける物質に変えられた後に通る管を.....という。
- ⑪ 根を観察するとみられる、綿毛のようなものを.....という。
- ⑫ 葉脈が平行に通る植物に見られる、同じような太さのたくさんの根を.....という。
- ⑬ 葉脈が網目状の植物に見られる、太い根を.....という。
- ⑭ 葉脈が網目状の植物に見られる、太い根から枝分かれした根を.....という。

植物の分類

- ① 種子ができるとき最初につくられる葉を.....という。
- ② 子葉が1枚ある被子植物を.....という。
- ③ 子葉が2枚ある被子植物を.....という。
- ④ 花弁が1枚ずつに分かれているものを.....という。
- ⑤ 花弁がつながっているものを.....という。
- ⑥ 種子をつくらない植物の中で、葉・茎・根の区別があり、維管束がある植物を.....という。
- ⑦ 種子をつくらない植物の中で、葉・茎・根の区別がなく、維管束がない植物を.....という。
- ⑧ シダ植物とコケ植物は種子ではなく.....でふえる。

植物のつくりとはたらき①

- ⑨ めしべのふくらんだ部分を 子房 という。
- ⑩ 子房の中にある、将来種子になる部分を 胚珠 という。
- ⑪ 胚珠が子房で包まれている植物を 被子植物 という。
- ⑫ めしべの柱頭に花粉がつくことを 受粉 という。
- ⑬ 受粉によって、子房が成長した部分を 果実 という。
- ⑭ 受粉によって、胚珠が成長した部分を 種子 という。
- ⑮ 胚珠がむき出しになっている植物を 裸子植物 という。
- ⑯ 花をつけて種子をつくる植物を 種子植物 という。

植物のつくりとはたらき②

- ⑰ 葉などをうすく切って観察したとき、内部に見える小さな部屋のようなものを 細胞 という。
- ⑱ 植物の葉の細胞の中にある緑色の粒を 葉緑体 という。
- ⑲ 葉に見られる筋のことを 葉脈 という。
- ⑳ 葉脈などに集まっている管の集まりを 維管束 という。
- ㉑ 葉の表皮になる、2つの三日月形の細胞(孔辺細胞)に囲まれたすきまを 気孔 という。
- ㉒ 根から吸い上げられた水が水蒸気となって出ていくことを 蒸散 という。
- ㉓ 葉の葉緑体に光が当たって、デンプンなどの養分がつけられるはたらきを 光合成 という。
- ㉔ 動物、植物がともに行っている、空気中の酸素をとり入れ、二酸化炭素をはき出すはたらきを 呼吸 という。
- ㉕ 植物にある、根から吸収された水や肥料分の通り道である管を 道管 という。
- ㉖ 植物にある、葉でつくられた養分が、水にとける物質に変えられた後に通る管を 篩管 という。
- ㉗ 根を観察するとみられる、綿毛のようなものを 根毛 という。
- ㉘ 葉脈が平行に通る植物に見られる、同じような太さのたくさんの根を ひげ根 という。
- ㉙ 葉脈が網目状の植物に見られる、太い根を 主根 という。
- ㉚ 葉脈が網目状の植物に見られる、太い根から枝分かれした根を 側根 という。

植物の分類

- ① 種子ができるとき最初につくられる葉を 子葉 という。
- ② 子葉が1枚ある被子植物を 単子葉類 という。
- ③ 子葉が2枚ある被子植物を 双子葉類 という。
- ④ 花弁が1枚ずつに分かれているものを 離弁花類 という。
- ⑤ 花弁がつながっているものを 合弁花類 という。
- ⑥ 種子をつくらない植物の中で、葉・茎・根の区別があり、維管束がある植物を シダ植物 という。
- ⑦ 種子をつくらない植物の中で、葉・茎・根の区別がなく、維管束がない植物を コケ植物 という。
- ⑧ シダ植物とコケ植物は種子ではなく 胞子 でふえる。

身のまわりの物質

- ① 金属をみがくと光る特有のかがやきを.....という。
- ② 金属以外の物質のことを.....という。
- ③ 上皿てんびんや電子てんびんではかることのできる物質そのものの量を.....という。
- ④ 物質 1 cm^3 当たりの質量を.....という。
- ⑤ 炭素をふくむ物質のことを.....という。
- ⑥ 有機物以外の物質のことを.....という。

気体と水溶液の性質

- ① 水にとけにくい気体を集める方法を.....という。
- ② 水にとけやすく、空気より密度が小さい気体を集める方法を.....という。
- ③ 水にとけやすく、空気より密度が大きい気体を集める方法を.....という。
- ④ 溶液にとけている物質を.....という。
- ⑤ 物質をとかしている液体を.....という。
- ⑥ 物質がとけている液全体を.....という。
- ⑦ 溶媒が水である溶液を.....という。
- ⑧ 1種類の物質でできているものを.....という。
- ⑨ いくつかの物質が混ざり合ったものを.....という。
- ⑩ 溶液のこさを.....という。
- ⑪ 溶液の濃度を、溶質の質量が溶液全体の何%にあたるかで表したものを.....という。
- ⑫ いくつかの平面で囲まれた規則正しい形をしている固体のことを.....という。
- ⑬ 物質がそれ以上とけることができない水溶液を.....という。
- ⑭ 100 g の水にそれ以上とけることができないようになったときの溶質の質量を.....という。
- ⑮ 水の温度ごとの溶解度をグラフに表したものを.....という。
- ⑯ 溶解度の差を利用して溶液から溶質を結晶としてとり出すことを.....という。

物質の状態変化

- ① 固体 \leftrightarrow 液体 \leftrightarrow 気体のように、温度によって物質の状態が変わることを.....という。
- ② 液体が沸騰して気体に変化するときの温度を.....という。
- ③ 固体が溶けて液体に変化するときの温度を.....という。
- ④ 液体を熱して沸騰させ、出てくる蒸気(気体)を冷やして再び液体としてとり出すことを.....という。

身のまわりの物質

- ⑦ 金属をみがくと光る特有のかがやきを...金属光沢...という。
- ⑧ 金属以外の物質のことを...非金属...という。
- ⑨ 上皿てんびんや電子てんびんではかることのできる物質そのものの量を...質量...という。
- ⑩ 物質 1 cm^3 当たりの質量を...密度...という。
- ⑪ 炭素をふくむ物質のことを...有機物...という。
- ⑫ 有機物以外の物質のことを...無機物...という。

気体と水溶液の性質

- ⑰ 水にとけにくい気体を集める方法を...水上置換...という。
- ⑱ 水にとけやすく、空気より密度が小さい気体を集める方法を...上方置換...という。
- ⑲ 水にとけやすく、空気より密度が大きい気体を集める方法を...下方置換...という。
- ⑳ 溶液にとけている物質を...溶質...という。
- 21 物質をとかしている液体を...溶媒...という。
- 22 物質がとけている液全体を...溶液...という。
- 23 溶媒が水である溶液を...水溶液...という。
- 24 1種類の物質でできているものを...純粋な物質...という。
- 25 いくつかの物質が混ざり合ったものを...混合物...という。
- 26 溶液のこさを...濃度...という。
- 27 溶液の濃度を、溶質の質量が溶液全体の何%にあたるかで表したものを...質量パーセント濃度...という。
- 28 いくつかの平面で囲まれた規則正しい形をしている固体のことを...結晶...という。
- 29 物質がそれ以上とけることができない水溶液を...飽和水溶液...という。
- 30 100 g の水にそれ以上とけることができないようになったときの溶質の質量を...溶解度...という。
- 31 水の温度ごとの溶解度をグラフに表したものを...溶解度曲線...という。
- 32 溶解度の差を利用して溶液から溶質を結晶としてとり出すことを...再結晶...という。

物質の状態変化

- ⑤ 固体 \leftrightarrow 液体 \leftrightarrow 気体のように、温度によって物質の状態が変わることを...状態変化...という。
- ⑥ 液体が沸騰して気体に変化するときの温度を...沸点...という。
- ⑦ 固体が溶けて液体に変化するときの温度を...融点...という。
- ⑧ 液体を熱して沸騰させ、出てくる蒸気(気体)を冷やして再び液体としてとり出すことを...蒸留...という。